

# 産婦人科 *Obstetrics and Gynecology*

## 1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 近藤 裕司(総合周産期母子医療センター長)  
1987年岡山大学医学部卒  
専門分野:周産期医学、婦人科手術  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 阿部 恵美子(主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長)  
1993年愛媛大学医学部卒  
専門分野:周産期医学、婦人科手術  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 森 美妃(部長)  
2004年高知医科大学卒  
専門分野:周産期医学、婦人科手術  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本産科婦人科遺伝診療学会認定医(周産期)、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 田中 寛希(部長)  
2004年愛媛大学医学部卒  
専門分野:産婦人科一般、内視鏡手術  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 池田 朋子(部長)  
2005年愛媛大学医学部卒  
専門分野:周産期医学、婦人科手術  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 上野 愛実(医長)  
2014年愛媛大学医学部卒  
専門分野:産婦人科一般  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 井上 翔太(医長)  
2016年愛媛大学医学部卒  
専門分野:産婦人科一般  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医師、厚生労働省臨床研修指導医
- 西野 由衣(医師)  
2019年愛媛大学医学部卒  
専門分野:産婦人科一般
- 井上 奈美(医師)  
2019年愛媛大学医学部卒  
専門分野:産婦人科一般  
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医
- 河端 大輔(専攻医)

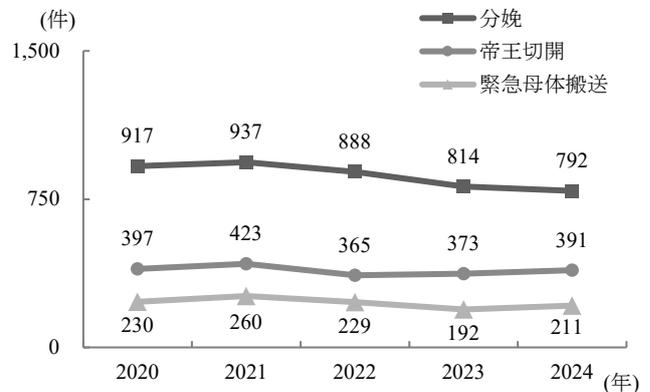
2021年川崎医科大学卒  
専門分野:産婦人科一般

- 鎌倉 百合(診療委託)
- 福岡 真弓(診療委託)
- 今井 統(診療委託)

## 2. 実績

12週以降の分娩数は792件でした。県内の出生数は全国的な傾向と一致し減少が顕著になり、当センターもその影響を受け減少したものと考えられます。当センターは県内全域から多くの母体搬送を受け入れているため、緊急母体搬送数は211件でした。分娩数は減少していますが、母体搬送率は上昇しており、総合周産期母子医療センターとしての重要性が増しているものと考えられます。

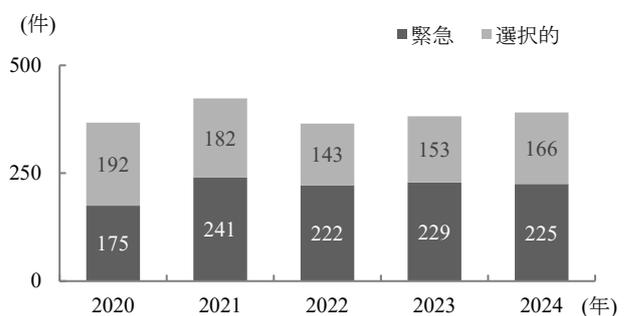
■ 分娩数・帝王切開数・緊急母体搬送数の推移



帝王切開については、帝王切開数は391件、うち緊急帝王切開数は225件、選択的帝王切開数は166件でした。

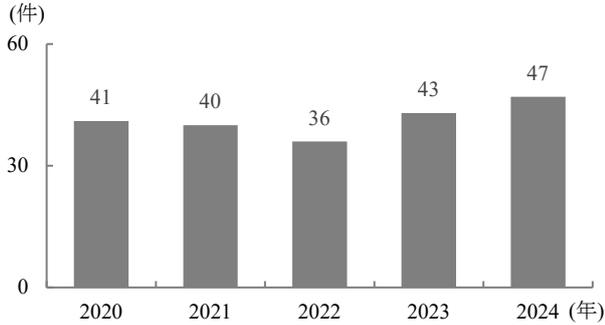
当センターでは新生児内科、麻酔科等関係各科と良好な連携のもと、迅速な帝王切開を提供できています。また三次救急とも連携して、母体救命が必要な合併症妊婦についても、母体救命対応総合周産期母子医療センターとしての機能を果たしています。

■ 帝王切開数の推移および内訳



多胎妊娠は47件(母体数)でした。

#### ■ 多胎妊娠の推移



#### ■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	患者数
O14 妊娠高血圧症候群	103
O20 切迫流産	19
O32 骨盤位	99
O33 児頭骨盤不均衡	8
O34 既往帝王切後妊娠	175
O36 子宮内胎児発育不全	50
O42 前期破水	228
O44 前置胎盤	17
O47 切迫早産	338
O48 分娩予定日超過	52
O66 分娩停止	61
O68 胎児機能不全	133
O72 弛緩出血	11
C549 子宮体癌	6
C56 卵巣癌	3
D25 子宮筋腫	200
D39 卵巣腫瘍	195

婦人科手術では良性疾患の腹腔鏡下手術を中心とした内視鏡下手術を行っており、腹腔鏡下手術は221件、子宮鏡下手術は19件、ロボット手術は11件施行しました。これらの低侵襲手術により在院日数の短縮に貢献しています。

#### ■ 手術件数

手術名	症例数
腹腔鏡下手術	221
子宮鏡下手術	19
子宮全摘術(腹・膣式)	34
開腹付属器手術	6
子宮脱手術	13
緊急帝王切開術	225
予定帝王切開術	166
円錐切除術	19
ロボット手術	11

### 3. 2025年度目標

当科は愛媛大学医学部附属病院や松山赤十字病院からも搬送を受けるなど、多くの重症なハイリスク妊娠分娩を取り扱うため、新生児内科、小児外科とのカンファレンス等を通してさらに連携を強

め、より高度で安全な妊娠分娩管理を実施していきたいと考えます。

病診連携の推進については、紹介率および逆紹介率をさらに高めるよう努めることを目標としました。

近年の産科入院患者の増加に対して、病床の問題に十分配慮し、経陰分娩後1日、緊急帝王切開後2日での紹介元への逆搬送の実施等で病床利用に配慮し、病床利用効率の向上に貢献していきたいと考えています。また、病床が不足した場合の他病床への患者さんの転床にあたっては、産科病床選択や転床時の説明等に十分な配慮を行うようにします。これらによって母体搬送の受け入れ要請については全例対応できるよう配慮していきます。

婦人科では夜間でも十分な手術実績のある医師が手術に入るようにし、安全な手術治療の提供に配慮していきます。

### 4. 学術関係

#### (1) 学会発表および講演

- 城戸香乃、池田朋子、井上翔太、大木悠司、上野愛実、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤司。敗血症を伴った流産の3症例。第76回日本産科婦人科学会学術講演会。横浜 (2024.4.19-21)
- 野村崇良、阿部恵美子、城戸香乃、島瀬奈津子、西野由衣、井上翔太、上野愛実、中橋一嘉、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。妊娠30週まで子宮内生存した三倍体の一例。第76回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2024.6.1)
- 田島麗、上野愛実、城戸香乃、島瀬奈津子、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、池田朋子、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。若年女性に発症した卵管捻転の2例。第76回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2024.6.1)
- 城戸香乃、田中寛希、島瀬奈津子、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。Zoomミーティングを用いた腹腔鏡遠隔教育システムの経験。第76回愛媛県産婦人科医会学術集談会。松山 (2024.6.1)
- 城戸香乃、阿部恵美子、島瀬奈津子、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。妊娠30週まで生存した三倍体の一例。第27回愛媛県産科産期医療研究会。松山 (2024.6.15)
- 本間義人、鶴田寛二、井上孝司、勝田知也、阿部恵美子、岩本悟志、奥野恵子、若林美代子、岡英明、高村弘美。SARS-CoV2陽性妊婦の分娩形式と医療従事者への2次感染リスクについての検討。第98回日本感染症学会学術講演会第72回日本化学療法学会総会。神戸 (2024.6.27-29)
- 森美妃、城戸香乃、島瀬奈津子、上野愛実、池田朋子、阿部恵美子、近藤裕司。可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎、脳症(MERS)を合併した子宮内胎児死亡の1例。第60回日本産科・新生児医学会学術集会。大阪 (2024.7.13-15)
- 池田朋子、城戸香乃、島瀬奈津子、上野愛実、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。当院における精神疾患合併妊娠症例の検討。第60回日本産科・新生児医学会学術集会。大阪 (2024.7.13-15)
- 島瀬奈津子、阿部恵美子、城戸香乃、上野愛実、池田朋子、森美妃、近藤裕司。当院におけるNIPTの現状。第60回日本産科・新生児医学会学術集会。大阪 (2024.7.13-15)
- 城戸香乃。Zoomミーティングを用いた腹腔鏡遠隔教育システムの経験。第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。東京 (2024.9.12-14)
- 田中寛希。腹腔鏡下子宮全摘術における子宮動脈結紮処理の必要性に関する検討。第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会。東京 (2024.9.12-14)
- 島瀬奈津子、森美妃、城戸香乃、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎、脳症(MERS)を発症した子宮内胎児死亡の1例。第76回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会。徳島 (2024.9.22-23)
- 城戸香乃、田中寛希、島瀬奈津子、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。Zoomミーティングを用いた腹腔鏡遠隔教育システムの経験。第76回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会。徳島 (2024.9.22-23)
- 井上翔太、田中寛希、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、中橋一嘉、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。腹腔鏡下筋腫核出術でのMyoma pseudocapsuleの温存を目的としたインジゴカルミン、パソプレシン混合液を用いた工夫。第29回四国産婦人科内視鏡手術研究会。

香川 (2024.10.5)

15. 井上翔太、田中寛希、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、中橋一嘉、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. TLHの腔断端縫合における両端針有棘縫合糸の使用経験. 第29回国産婦人科内視鏡手術研究会. 香川 (2024.10.5)
16. 井上翔太、田中寛希、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、中橋一嘉、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 帝王切開後に発症した腔狭窄症の1例. 第39回日本女性医学学会学術集会. 栃木 (2024.11.9-10)
17. 田中寛希. 腹腔鏡技術認定医に向けての傾向と対策2024. 第4回愛媛県産婦人科内視鏡研究会. Web (2024.11.15)
18. 井上翔太. 3回既往帝王切開後の多発子宮筋腫症例に対する腹腔鏡下子宮全摘出術. 第4回愛媛県産婦人科内視鏡研究会. Web (2024.11.15)
19. 井上翔太、田中寛希、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、中橋一嘉、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 帝王切開後に発症した腔狭窄症の1例. 第77回愛媛県産婦人科医会学術集談会. 松山 (2024.12.7)
20. 堤俊也、森美妃、城戸香乃、西野由衣、井上奈美、中橋一嘉、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司. 腸閉塞合併妊娠の1例. 第77回愛媛県産婦人科医会学術集談会. 松山 (2024.12.7)

## (2) 論文・著書

1. 島瀬奈津子、阿部恵美子、宮内省蔵、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司. 母体バセドウ病に合併した胎児甲状腺腫に対し、超音波検査を用いた甲状腺機能スコアリングシステムにより甲状腺機能評価を行い胎児治療を行った1例. 産婦人科の実際 Vol.73(No.1). 93-97 (2024.1.1)
2. 鶴田寛二、本間義人、阿部恵美子、勝田知也、岩本悟志、若林美代子、岡英明、高村弘美. COVID-19罹患中の分娩様式による医療従事者の2次感染についての後方視的観察研究. 感染症学会雑誌 98巻(6号). 541-544 (2024.11.2)
3. 新田庄太郎、森美妃、城戸香乃、島瀬奈津子、西野由衣、中橋一嘉、井上翔太、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司. 急性虫垂炎合併妊娠の11例. 現代産婦人科 Vol.73(No.1). 109-113 (2024)